

面接試験（配点：200点満点）

【出題趣旨】 午前のグループの出願者に対する面接試験では、2本の新聞記事（2017年4月13日付読売新聞夕刊「チンパンジーにも「権利」：おりから解放 アルゼンチンで人身保護令」の全文と2017年7月24日付日本経済新聞朝刊「AIと世界 見えてきた現実1」の一部）、午後のグループの出願者に対する面接試験では、シェイクスピア『ベニスの商人』の一部分についての要約と関連する問題文（臓器移植に関するもの）を、それぞれ資料として提示し、これらを題材にした試問を行うとともに、出願書類に関する質疑も行い、出願者の論理的思考・判断力、理解・分析力及び表現力等を判定した。

【採点基準】 資料の内容が正確に理解できるか、論理的に物事を考えることができるか、問題を発見しそれを的確に分析する能力を有しているか、質疑への対応が適切にできるか等の点で総合的に評価を行った。